

長兄・聖志が のメンソツドを伝授!

宮里流の生みの親である3兄妹の父・優氏のスコットランドからの帰国が遅れ、直前に不参加が決まった今年の親子合宿。しかし、長兄・聖志が父親に代わってジュニアを指導。ゴルフ場は例年と変わらぬ熱気に包まれた。



過去最多の
参加者を迎え

宮里家



父不在も聖志が
道場主代理として
大活躍!

今年も、8月23〜24日の二日間にわたり開催された「宮里道場夏休み親子合宿」。

開催直前に道場主である宮里優先生の不参加が決したが、キャンセルはほとんど出ることなくイベントは行われた。

優先生に代わり、道場主代理としてジュニアレッスンの指揮を執ったのは、これまで毎年のようにこのイベントに参加してきた長兄・聖志。体に染み付いた「宮里流」をジュニアゴルファーに惜しみなく伝えていた。

1日目の午前中は、実際のコースを使って宮里流の基本「30ヤードの家」をベースにしたアプローチレッスン。午後からは場所を練習場に移し、参加ジュニア全員を3人のプロがじっくり個人レッスンしていくという濃い内容。夕食は毎年恒例のプロと一緒に超豪華バーベキュー、子供たちは疲れも見せず最後まで楽しんだ。
2日目はプロとのラウンドレッスンを9ホール。その後は親子水入らずでラウンドし、イベントは幕を閉じた。

1 移動中もプロのアドバイスがもらえる貴重な時間。子供だけでなく親もアドバイスを求めている 2 ゴルフ場の天然芝から、何十球も打てるのは親子合宿の醍醐味 3 今回、ジュニアレッスンを手伝ってくれた細田尚孝(左)と伊左川祐治(右)の両プロ 4 打ったボールは、当然自分たちで拾う。最低限のマナーもジュニアレッスンでは重要 5 練習場レッスンでは、まず始めに聖志プロによるデモンストレーションが行われた 6 はじめは少し距離のあったジュニアたちも、バーベキューを通して仲良しに